

国際バルク戦略港湾の選定に 向けた計画書(公表用資料)



室蘭港港湾管理者
室蘭市



国際バルク戦略港湾 応募内容の概要

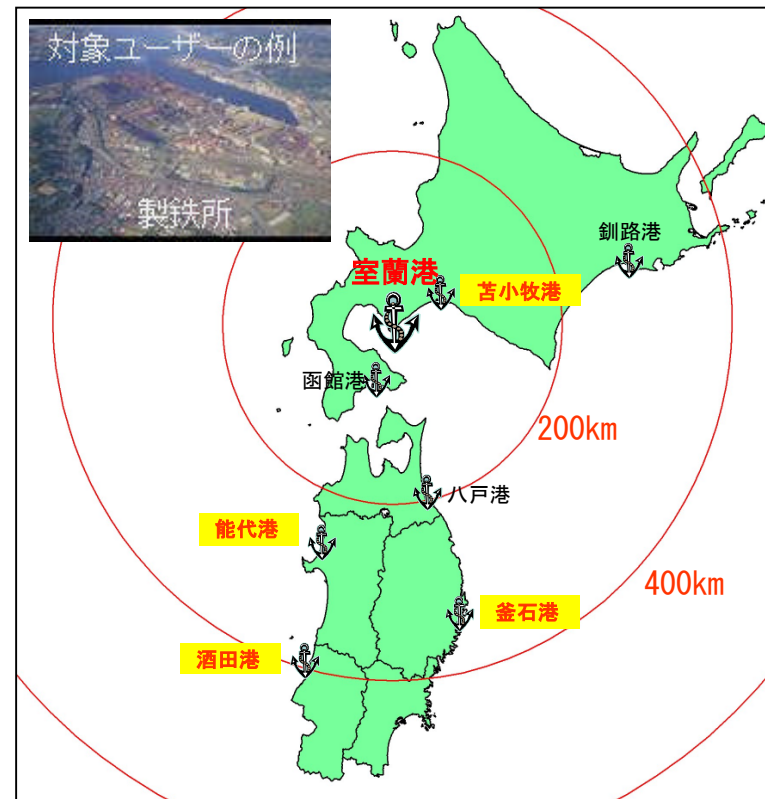
～対象ユーザーと連携港湾～

応募対象品目：**石炭** 取扱量：**約640万トン/年**（連携量含む）
鉄鉱石・原油を含めた取扱量：約1,970万トン/年

対象ユーザーと連携港湾

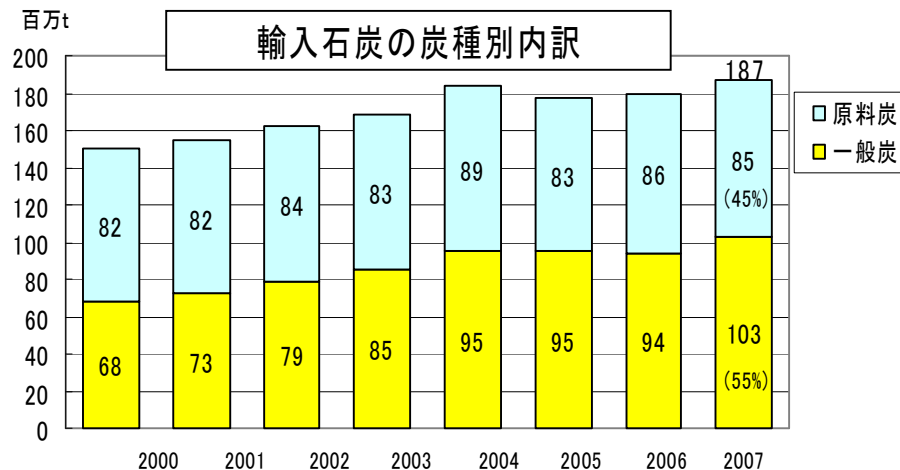
| | |
|-----------------|---|
| 対象ユーザー （応募港） | 新日本製鐵(株)、日鐵セメント(株) |
| 対象ユーザー （連携港） | 北海道電力(株) |
| 対象ユーザー 候補 | 東北電力(株)、酒田共同火力発電(株) 北海道、東北地域の製紙会社、 セメント会社、製糖会社等 |
| 連携港湾と 港湾管理者 | 苦小牧港：苦小牧港管理組合 能代港：秋田県※ 釜石港：岩手県 酒田港：山形県※ 木更津港：千葉県 名古屋港：名古屋港管理組合 |

室蘭港を中心とする連携港湾・連携想定港湾

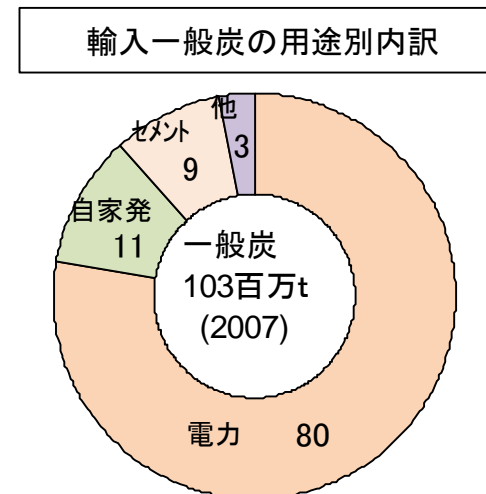


※印は連携協議中の港湾・港湾管理者

我が国の石炭輸入の現状と課題



出典：財務省貿易統計より経済産業省資源エネルギー庁作成の数値をグラフ化



出典：発電能力とセメント協会資料から推定

○原料炭は鉄鋼港湾で荷揚げされるが、既に複数の港が水深19m程度を達成している

○一般炭輸入量の80%を荷揚げする電力港湾は、水深のほとんどが14m以下である

○国際バルク戦略港湾(石炭)の選定基準では、水深19m程度を目標としている

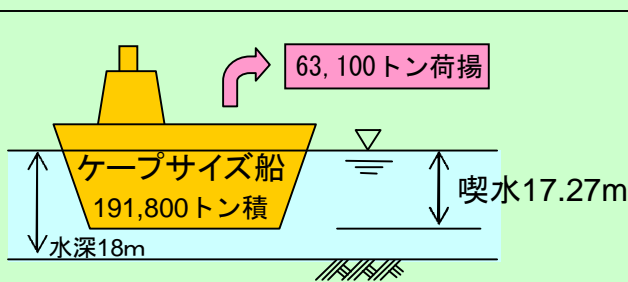
鉄鋼港湾ではケーブサイズ船の1港目入港が可能！

国際バルク戦略港湾の目的

室蘭港の果たす役割

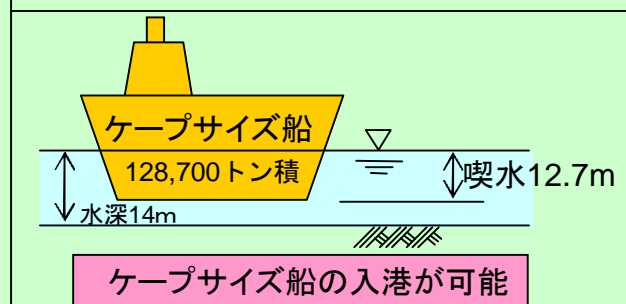
・北海道、東北の中心に位置し、北日本最大の水深を誇る**室蘭港**を活用し、北日本の石炭輸入における**喫水調整機能**を担う！！

ファーストポート室蘭港（水深18m）



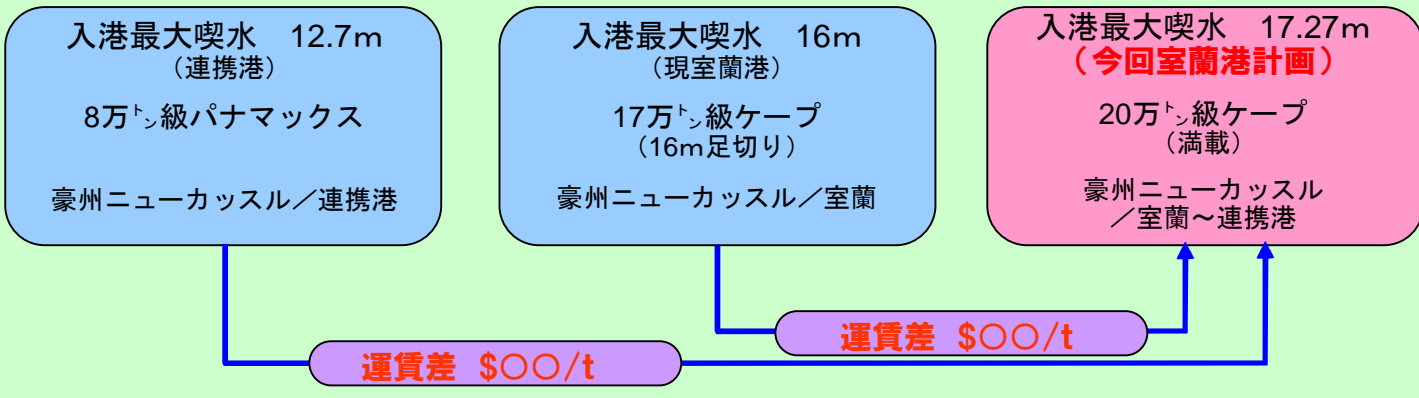
喫水調整

北海道・東北の港（水深14m）



コスト削減効果

港湾能力向上による大型船舶導入と輸送コストの削減モデル(苫小牧港モデル)

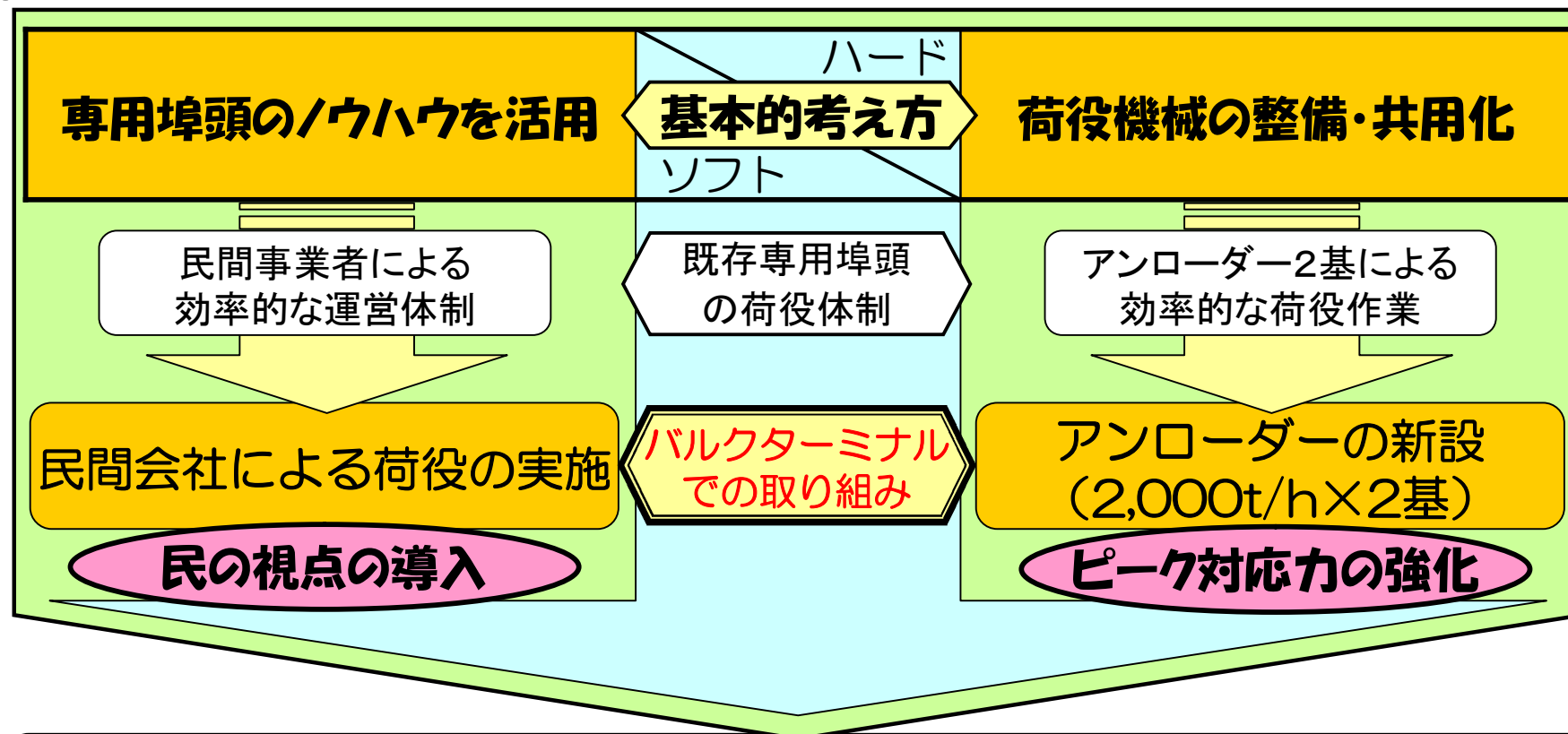


政策の目的

北日本における石炭輸入の喫水調整機能を果たし、物流コストを削減！

「民」の視点での効率的な運営体制の確立

- ・バルクターミナルに隣接する専用埠頭では、既にケーブサイズ船の受入れ実績があり、大型船に対応した効率的な荷役体制が確立されている。
- ・このノウハウをバルクターミナルで活用し、専用埠頭と一体での効率的運営を行う。



「民」の視点による、専用埠頭と一体での
効率的なバルクターミナルの運営体制を実現！

室蘭港の優位性

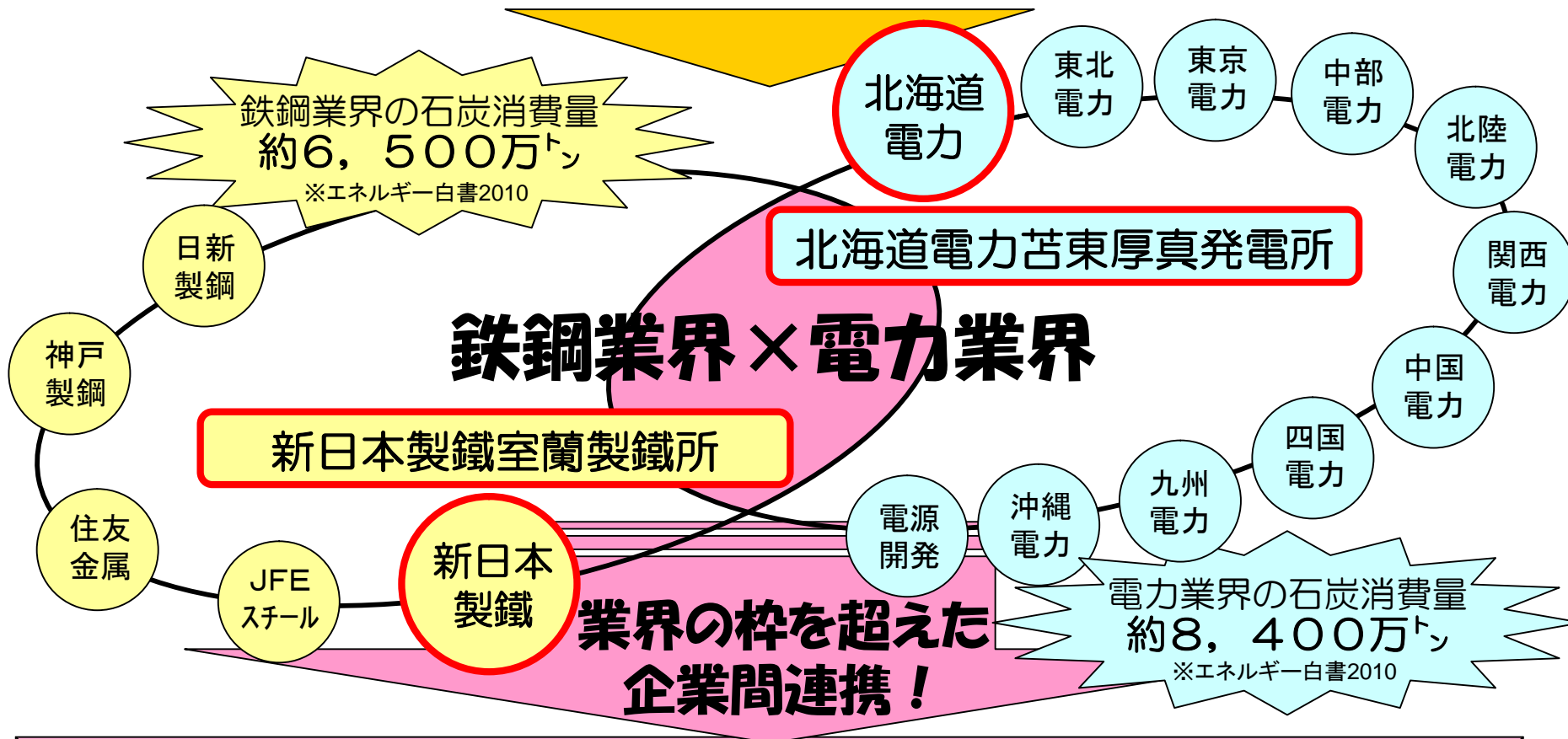
企業間、港湾間の連携が広く図れる

目標年次の前倒し(2017年)が可能

整備コストが安価

安全・安心な港湾

室蘭港の国際バルク戦略港湾への指定の暁には・・・



新たなビジネスモデルによる産業競争力の強化!